

新たな委員の委嘱

看護師の委員退任に伴うもの。

議題 1.令和 5 年度流山市在宅医療介護連携推進事業計画について

【目標達成度評価】

流山市高齢者支援計画第8期に設定した短期目標、中期目標に対し目標の到達度を事務局内で評価し、課題抽出を行い、そのうえで令和5年度流山市在宅医療介護連携推進事業計画(案)を立案

現時点での短期・中期目標到達度を評価した。

達成:短期目標1-①(医療介護専門職の顔の見える関係作りの体制を構築する)、

2-②(施設での看取りを増やす)、中期目標2(施設看取り)

未達成:短期目標1-②(医療・介護の専門職の知識・技術が向上する)③(医療・介護の専門職がスムーズに情報共有できる)④(医療・介護の専門職が支援に対する不安を払拭できる)2-①(市民が在宅療養について理解する)、3-①(切れ目のない円滑な入退院支援の体制を構築する)、中期目標1(地域全体で在宅療養を支える体制を組めるようにする)、2(在宅看取り)、3(病院、施設、在宅の連携を深める)

短期目標については、医療介護職の関係づくりや知識、技術の向上に関して一定の進展が見られたが、情報共有手段や支援に対する不安の解消などの課題が残っている。市民の在宅医療の対する理解の向上や施設での看取り増加なども目標未達成とされている。特に、入退院支援の円滑な体制構築においては、情報共有や連携の不足が問題視されている。

【令和 5 年事業計画案】

8つの事業項目から 4 つの場面(日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り)ごとの課題整理をもとに事業計画案を示し、現状や課題、取組方針が述べられた。4つの場面に共通する取組として GIS の活用、情報共有システムの利用促進、市民啓発活動などが挙げられ、各場面において具体的な課題や取組み、目標が明確に示された。

議題 2.「急変時の取り組みについて」

急変時の場面分けが必要であることが提案され、3つの場面(①予測されている疾患での急変 ②治療中以外の新たな疾患での急変 ③どうすることになっているのか決まっていない)に分類。

各場面における目標: ・住み慣れた環境で本人の意思を尊重して最期を迎えること ・関係者間の適切な情報共有により医療にスムーズにつなげること ・本人や家族と意思決定を共有できること

取り組み案: ・情報共有不足の対応としてはカナミックの活用 ・本人情報連携シートや対応マニュアルの作成を提案 ・ACP に関する認識の向上のためには、市民向けの啓発活動や講座の実施を計画。

委員から、連携シート作成に関し、新しくするのではなく、現存するものを統合し足りないものを加えていくほうがよいのではないかと意見が出された。ACP に関しては、家族への説明や情報共有の難しさが指摘された。本人、家族の意思活動が重要であり、家族向けの啓発活動が必要であるとの意見が出された。情報共有の方法に関しては、カナミックや QR コードの活用が提案されたが、単独では不十分であり将来的な連携システムの整備が必要であるとの意見が示された。

令和5年度第1回会議 各部会の討議まとめ

<p>多職種連携・体制構築部</p>	<p>病診施連携班</p>	<p>【在宅看取り推進のための症例検討会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、東部地域、北部地域の2圏域で開催する。(参集型とし、傍聴のみの参加者はZoom参加可とする。) ・ヘルパー等、看取りに慣れていない可能性のある職種を対象として企画し、事例もヘルパー等から出してもらい、臨床倫理的な内容を検討する。 <p>【入退院時の多職種連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/25 北部・中部包括合同のケアマネ交流会が開催された。認知症に焦点を当てた事例紹介などの内容であり、ケアマネや医療機関の相談員などの多くの参加があった。 ・地域在宅医療体制構築支援事業の実施状況について、コロナで発熱外来が忙しくなっていた状況があった中、10数例ほど扱った。現在はコロナも少し落ち着き、在宅をやっている医師も増え、マンパワーは増えてきている。
<p>研修・啓発部会</p>	<p>専門職研修班</p>	<p>【今年度つむぐ会に進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護連携会議で議題に上がったことについて、介護と医療をつむぐ会で、専門職の現場の声を聴き両会と連動していく。令和5年度は「在宅療養者の予期せぬ急変時の連携対応」、「入退院時の多職種連携」をテーマとする。 <p>【第1回つむぐ会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりの対面式開催となる。グループワークが敬遠されていることもあり、参加しやすいようにグループ発表はせず、意見交換形式で行う。連携成功事例を活用し、「互いにほめあうこと」をテーマとする。 <p>【次回つむぐ会について】</p> <p>8/14(月)午後または8/24(木)夜の開催予定。</p>
	<p>市民啓発班</p>	<p>【市民公開講座について】</p> <p>参集型で11/14(土)または11/18(土)、14時から16時初石公民館で実施予定。</p> <p>対象:高齢者、少し若い世代</p> <p>テーマ:独居高齢者世帯が「最後まで自分らしく住み慣れた家でご機嫌に過ごす！備えについて語り合おう」をメインに認知症を切り口に食べること、嚥下、栄養に関する内容を検討。</p> <p>形式:在宅医療支援者からのパネルディスカッション。今後候補選定</p> <p>周知方法:学校配信の一斉メール・ポスター掲示・各職能団体からの声かけ協力等も検討。</p> <p>今後、テーマ、内容に関し、情報共有システムを通じ意見交換し検討していくこととする</p>